

平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年12月25日

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社  
 コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月4日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 柴田 英二  
 (氏名) 赤木 正彦

TEL 092-433-1228

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の業績(平成24年2月21日～平成24年11月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	97,687	5.7	1,611	1.2	1,609	1.4	753	9.5
24年2月期第3四半期	92,388	—	1,592	—	1,587	—	688	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	100.35	—
24年2月期第3四半期	107.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年2月期第3四半期	28,152	10,491	37.3	1,393.77
24年2月期	26,777	8,605	32.1	1,346.77

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 10,491百万円 24年2月期 8,605百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年2月期	—	0.00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 2月期の業績予想(平成24年 2月21日～平成25年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,500	—	3,062	—	3,041	—	1,255	—	166.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年4月5日に公表いたしました「決算期変更及び定款一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成25年2月期は12ヶ月8日の変則決算となる予定であるため、通期の対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期3Q	7,527,195 株	24年2月期	6,389,395 株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	37 株	24年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期3Q	7,512,587 株	24年2月期3Q	6,389,395 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(5) セグメント情報等 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における経営環境は、復興関連需要等により緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州債務危機を背景とした経済の不安定化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が地盤としております九州地区におきましては、改善の動きが鈍い雇用情勢や所得の伸び悩みに加え、将来の消費税増税に対する生活防衛意識の高まりもあり、消費者の購買意欲は依然として慎重であります。スーパーマーケット業界におきましても、生活者の低価格志向、厳しい価格競争といった状況や、少子高齢化によるマーケットの縮小、異業種の食品市場への参入拡大等、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような経営環境の中、「九州のスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーへ」のスローガンのもと、新店舗の開発及び既存店舗の活性化、また、更なる成長と熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

成長の要となる新規店舗としまして、3月にマックスバリュ直方新店(福岡県)、5月にマックスバリュ国分店(鹿児島県)、9月にマックスバリュエクスプレス中間店(福岡県)、10月にマックスバリュ時津店(長崎県)、11月にマックスバリュ新戸島店(熊本県)及びマックスバリュ鳥栖村田店(佐賀県)を開店しました。また、既存店舗3店を改装いたしました。

営業面におきましては、上場記念セールやイオングループでの「イオンの快夏宣言」による「朝トク7時」の開催による早朝時間帯の強化等、商品面におきましてはイオンのブランド「トップバリュ」を拡販するトップバリュウィークの開催、約100種類のお惣菜を欲しい量だけ1g1円でお買い求めいただける「おかずバイキング」コーナーの展開拡大等により買上点数及び来店客数のアップを図り、売上高の拡大を目指し取り組みました。

販売費及び一般管理費の削減の取り組みとして、電力不足に対応すべく約半数の59店舗において店内照明のLED電球への切り替えを実施し使用量と電気代の削減を図りました。また、店舗維持に係るメンテナンス費用等固定的なものの見直しに引き続き取り組み、改善を図りました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高97,687百万円(前年同四半期比105.7%)、営業利益1,611百万円(前年同四半期比101.2%)、経常利益1,609百万円(前年同四半期比101.4%)、四半期純利益753百万円(前年同四半期比109.5%)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べ1,375百万円増加し、28,152百万円となりました。主な要因は新店開店等により有形固定資産が1,290百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べ510百万円減少し、17,661百万円となりました。主な要因は新店開店等により買掛金が242百万円増加したものの、借入金返済により895百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べ1,886百万円増加し、10,491百万円となりました。主な要因は平成24年2月22日の上場に伴う増資により資本金及び資本剰余金が1,315百万円増加したこと、並びに利益剰余金が562百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,010	1,566
売掛金	1,288	1,349
商品	2,850	3,228
貯蔵品	30	31
その他	1,373	1,442
流動資産合計	7,552	7,618
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,537	7,801
土地	2,457	3,084
その他(純額)	2,809	3,209
有形固定資産合計	12,804	14,095
無形固定資産	35	31
投資その他の資産		
差入保証金	4,419	4,441
その他	1,964	1,965
投資その他の資産合計	6,384	6,407
固定資産合計	19,224	20,534
資産合計	26,777	28,152
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,852	9,105
短期借入金	900	500
未払法人税等	622	194
賞与引当金	153	391
役員業績報酬引当金	48	35
その他	4,560	4,842
流動負債合計	15,137	15,069
固定負債		
長期借入金	1,045	610
役員退職慰労引当金	41	—
店舗閉鎖損失引当金	241	167
資産除去債務	541	578
その他	1,164	1,235
固定負債合計	3,034	2,591
負債合計	18,172	17,661

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	929	1,587
資本剰余金	775	1,432
利益剰余金	6,803	7,366
自己株式	—	△0
株主資本合計	8,508	10,386
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96	105
評価・換算差額等合計	96	105
純資産合計	8,605	10,491
負債純資産合計	26,777	28,152

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日)	当第3四半期累計期間 (自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日)
売上高	92,388	97,687
売上原価	70,701	74,820
売上総利益	21,687	22,867
その他の営業収入	1,180	1,188
営業総利益	22,868	24,055
販売費及び一般管理費	21,275	22,444
営業利益	1,592	1,611
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	4	4
受取保険金	7	6
その他	3	4
営業外収益合計	33	33
営業外費用		
支払利息	29	22
株式交付費	—	5
その他	8	7
営業外費用合計	38	35
経常利益	1,587	1,609
特別利益		
固定資産売却益	28	12
特別利益合計	28	12
特別損失		
固定資産除却損	0	44
減損損失	144	134
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	209	—
その他	3	—
特別損失合計	358	178
税引前四半期純利益	1,257	1,443
法人税、住民税及び事業税	728	731
法人税等調整額	△159	△41
法人税等合計	569	689
四半期純利益	688	753

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、食品及び日用雑貨品を主に販売するスーパーマーケット事業及びその付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年2月22日の大阪証券取引所 J A S D A Q (スタンダード) への株式上場にあたり、平成24年2月21日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による株式の発行1,000,000株(発行価格1,250円、引受価額1,156.25円、資本組入額578.125円)及び、平成24年3月21日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による株式の発行137,800株(割当価格1,156.25円、資本組入額578.125円)を行い、それぞれ払込が完了いたしました。この結果、第1四半期会計期間において、資本金及び資本剰余金(資本準備金)がそれぞれ657百万円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金は1,587百万円、資本剰余金(資本準備金)は1,432百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。